

人間動物関係学特論(二) (2単位)

担当者氏名 小川 博

◆学習・教育目標

本特論がバイオセラピー学専攻における科目であることを踏まえ、様々な局面で人との密接な関わりが生じている動物について、その家畜化や歴史、行動特性とその管理、人と伴侶動物の共生などをテーマに講義する。具体的には、動物の行動の発達、感覚や学習能力、個体間のコミュニケーションなどの動物学的側面、使役犬の社会貢献などの側面、歴史の中の人と動物の関係などの側面について講義する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

人と動物の共生 人と動物の関係 動物の行動特性 動物の社会貢献

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	生活科学としての動物学	暮らしの中動物の学問的位置付け	学問体系と関連分野を把握する。動物の特性を把握し、動物管理に役立てる。 動物と人の関係および動物の社会的役割を理解し、その活用とより良き共生を考える
2	動物の理解(1)	動物としての特性	
3	動物の理解(2)	動物の感覚能力と情報伝達手段	
4	動物の理解(3)	動物の学習能力と認知能力	
5	動物の理解(4)	動物の行動の発達	
6	動物の理解(5)	動物の品種	
7	人と動物の関係理解(1)	動物による生理的・心理的癒し効果	
8	人と動物の関係理解(2)	動物による社会的癒し効果	
9	人と動物の関係理解(3)	動物の社会的貢献1	
10	人と動物の関係理解(4)	動物の社会的貢献2	
11	人と動物の関係理解(5)	動物の福祉	
12	人と動物の関係構築(1)	動物の飼養管理	
13	人と動物の関係構築(2)	動物の利活用	
14	人と動物の関係構築(3)	動物との共生に関する課題	
15	授業の総括	授業全体のまとめ	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

適宜資料を配布する。 / / ()

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

バイオセラピー学入門（講談社）ほか、授業の中で提示する

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト）

レポートの提出などにより評価する。

◆その他受講上の注意事項